

明治七年四月二日

太政大臣三條實美

開拓使

御國在留清國人民籍牌規則  
別紙ノ通相定候條其地在留  
清國人民ハ布告シ自今右規  
則ニ據リ取締方不都合無之  
様可致此旨相達候事

明治七年四月十日



ヨリ三日内ニ届出三十日内ニ籍牌ヲ受クヘシ  
若シ此日限ニ籍牌ヲ受ケサル者ハ直ニ籍牌ヲ  
受ケシメ手数料ノ外ニ罰金トシテ其定額ノ全  
數ヲ出サシムヘシ

但右籍牌ハ年々之ヲ改換スヘシ

### 第二條

籍牌ヲ受クルニハ願書ヲ差出シ其分限ニ應シ  
手数料トシテ上等ハ金二圓下等ハ金五十錢ヲ  
納メ七月ヨリ十二月迄ニ受ル者ハ其半高ヲ納  
ムヘシ但シ十六歳未滿ノ男及ヒ婦女ハ其等額

ノ半ヲ納ムヘシ

### 第三條

滯留三十日ヲ越ヘサル者ハ籍牌ヲ受ルニ及ハ  
ス尤モ着港ノ日ヨリ三日内ニ届書二通ヲ認メ  
管轄廳ヘ届ケ出一通ハ其廳ヘ納メ一通ハ檢印  
ヲ受ケ滯在ノ証トシテ所持スヘシ若シ此日限  
ニ届証ヲ所持セサル者ハ直ニ届証ヲ受ケシメ  
罰金トシテ下等籍牌手数料ノ全數ヲ出サシム  
ヘシ但シ疾病并ニ已ヲ得サルノ事故アルトキ  
ハ其旨願出猶豫ヲ受ルヲ得ヘシ其猶豫ノ期

限ハ廿日ヲ過クヘカラス

第四條

籍牌ヲ受ケ甲港ニ在留スル者若シ乙港ニ移住セント欲スルトキハ其旨ヲ届ケ移住ノ上ハ手數料ニ及ハス甲管廳籍牌ヲ以テ乙管廳牌ト交換スヘシ

第五條

本國ニ歸リ或ハ他國ニ行ク者ハ其旨届出籍牌ヲ返納シテ其收票ヲ受クヘシ若シ又其年内何レノ港ニ限ラス再び來リテ在留セント欲スル

トキハ手數料ニ及ハス收票ヲ其管轄廳ニ納メテ籍牌ヲ受クヘシ

第六條

籍牌ヲ紛失セシ者ハ直ニ届出更ニ定額手數料ヲ納メテ之ヲ受クヘシ其水火盜難等ニ係ル者ハ半數ヲ納メシムヘシ

但届証ヲ紛失セシ者ハ直ニ届出手數料ニ及ハス更ニ受ルヲ得ヘシ

第七條

婚姻出產死喪ノ節ハ當人又ハ其親故或ハ隨從

ノ者ニテ届書ヲ認メ當人ノ籍牌ヲ受ケ或ハ返納スヘシ

第八條

毎年一月四日ヨリ日數廿日ノ間ニ其管轄廳ニ到リ籍牌ヲ改換シ定額ノ手数料ヲ納ムヘシ若シ此日限ニ改換ヲナサル者ハ手数料ノ外ニ罰金トシテ其半額ヲ出サシムヘシ

第九條

籍牌検査ノ為メ其筋ノ役負ハ時々清國人ノ宿所ヲ巡廻シ入毎ニ檢問スルヲアルヘシ若シ日

限ヲ越ヘ籍牌ヲ所持セス或ハ改換ヲナサル者アル時ハ直ニ籍牌ヲ受ケシメ或ハ改換ヲナサシメ其手数料ノ外ニ第一條第八條ノ罰金ヲ出サシムヘシ若シ籍牌ヲ受ルヲ肯ンセス或ハ無力ニシテ受ル能ハサル者ハ我國無籍人同様ノ處分ヲナスヘシ

但届証ヲ所持セサル者モ亦同シ其罰金ハ第三條ノ如クナルヘシ

第十條

籍牌ヲ所持セス在留スル者出訴スル時ハ先ツ

其籍牌ヲ持セサルノ罪ヲ糾シテ第一條ノ罰金  
ヲ出サシメ然ル後裁判ス可シ

但届證ヲ持セサル者第三條ノ罰金ヲ出サ

シムヘシ

第十一條

凡ソ詐狀願書届書等管轄廳ニ差出スヘキ書類  
ハ必ス総代人ノ證印アルヘシ地所ヲ借り受ケ  
及ヒ家屋ヲ借貸賣買スルトキハ必ス約定書ヲ  
以テ管轄廳ニ届ケ出其書ニ檢印ヲ受クヘシ但  
シ右檢印手数料トシテ雙方ヨリ金一圓宛ヲ納

ムヘシ

程村紙四ツ切

○  
○  
縣 准給清國人民上等藉牌

姓名 王芳軒

年齡 四十八歲

本貫 浙江省寧波府鄞縣

生業 上等開何ノ号洋貨行  
下等傭工

到港 明治六年三月十二日

住址 橫濱百四十九番

明治七年 月

日給

六文

大正

程村紙四ツ切

函館ニテハ州格致丞館ニテ准給云々ト記シ印年ハ  
其庶印ヲ持テハ無論十トモ屬念云々ト書ス

府  
縣

准給清國人民上等藉牌

姓名 王芳軒

年 齡 四十八歲

本 貫 浙江省寧波府鄞縣

生 業 上等開河ノ号洋貸行  
下等傭工

到 港 明治六年三月十二日

住 址 横濱百四十九番

明治七年

月

日給

大正



○府准給清民家眷牌

橫濱百四十九番何王芳軒子妻孫

姓名

年齡

住址

明治七年 月

日給

程村ハツ切

届書式

檢印

姓名

年齡

本貫

生業

寄留地

妻

子

奴婢

姓名

姓名

姓名

右年號何年何月何日何國何港ヲ發之年號何

年何月何日日本國何港へ着

年月日

總代人

姓名 姓名  
名 名  
印 印

本紙返上副紙に詳記ス

開拓使

今般臺灣蕃地處分御用ニ付其使  
所轄ノ北海丸當分海軍省ニ被附  
候條同省ニ可相渡此旨相達候事

明治七年四月十日太政大臣三條實美